

22.07.2026

プレスメッセージ

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern
ドイツ
<https://www.pilz.com>

2027年からの機械規則：安全性は重要な競争要因

Ostfildern, 22.07.2026 - ユルゲン・ブコフスキー コンサルティング&サービス業務 上級マネージャー

(納品時検品)

産業設備のデジタル化・ネットワーク化が進み、リスク状況が変化しました。これは、従来型の機能安全だけでは、最新の生産現場における機械安全を確保するには不十分となったためです。サイバー攻撃、不正操作、およびセキュリティ対策が不十分なりモートアクセスは、現実的な脅威となっています。機械規則（MR）は、安全と産業サイバーセキュリティを統合することで、この動向に対応しています。企業にとって、これは今後、欧州市場へのアクセスが包括的な安全・セキュリティ要件と結びつくことを意味し、ひいては重要な競争要因となるでしょう。

導入と主要要件

MRでは、機械のライフサイクル全体にわたる包括的なアプローチが求められています。重要な要素の一つに、設計段階からのセキュリティ導入の徹底が挙げられます。不正な操作、無許可アクセス、危険なソフトウェア改変に対する防御対策は、設計・製造の初期段階から検討しなければなりません。

一方で、デジタルによる記録の重要性はますます高まっています。取扱説明書及び適合宣言書はデジタル形式で提供するとともに、少なくとも10年間閲覧可能な状態で保管しなければなりません。これには、文書化、データ保存、およびトレーサビリティに関する新たなプロセスが求められます。

また、明確に規定された更新およびリモートアクセスプロセスに加え、安全機能を検証する機能にも重点が置かれています。機械は、安全関連機能を追跡可能な方法で試験できるよう設計する必要があります。診断データは重要な役割を果たします。異常状態に関する情報を取得できるだけでなく、安全機能が作動した要因を特定するといった形で各事象を透明に追跡することも可能にします。この透明性は、停止時間を最小限に抑え、設備を効率的に稼働させるために極めて重要です。

また、MRは工場内ネットワークの構成に関する事項についても、より明確に規定しています。機械規則（MR）は、相互連結設備である「機械集合体」の改造に関する基準を明確化しており、「大幅な改造」という概念が法令に初めて定められています。設備改造を実施する場合、改造により新たなリスクが生じないことを条件に、設備の未改変箇所に関する既存の試験記録および関連書類については、そのまま使用することが認められます。

影響と対応の必要性

機械規則は企業に明確な責任を課するとともに、速やかな対応を迫っています。複数の機械または半完成機械を接続して機械集合体を構成し、その過程で新たなインターフェース上のリスクを生じさせる者は、法令上、設備全体の製造業者とみなされます。これにより、特定の義務が生じます：

- すべての構成要素が安全かつ円滑に連携して動作するように確保するのは、あなたの責任です（例：工場全体の非常停止機能など）。
- リスクアセスメントは、相互に関連し合う工場全体をカバーしなければなりません。

製造業者にとって、機械規則（MR）全体の影響として、開発・文書作成・安全管理プロセスの見直しに加え、技術文書を長期間保管・閲覧可能な状態に整備する必要があります。一方、作業者は稼働時の安全確保に加え、サイバーリスクに対する防御対策も実施しなければなりません。

世界的な影響：EU市場への切符

MRの影響力は、ヨーロッパをはるかに超えています。世界中の製造業者は、EU域内で事業を継続するためには、自社製品、製造プロセス、および安全対策を見直さなければなりません。

特に、サイバーセキュリティ、デジタル文書化、および安全なソフトウェア開発プロセスに関する要件が、新たな標準を打ち立てています。機械同士の多連結といった欧州の現場運用慣例から、高い柔軟性と統合対応能力が求められています。

これにより、MRは国際的なフレームとなります。本規則は、今後世界全体に通用する産業安全における最新技術基準を定義しています。

今すぐ行動：MRを好機として活用しましょう

機械規則（MR）は、単なる規制の調整にとどまらず、産業安全におけるパラダイムシフトを意味するものです。早期に対応する企業は、新たな要件を活用して業務プロセスを最適化し、リスクを低減させ、長期的な競争力を強化できます。移行までのカウントダウンが始まっており、将来に対応可能な機械設備の基盤を今こそ整備する必要があります。

キャプション:

こちらからテキストと画像をダウンロードできます:

<https://www.pilz.com/ja-INT/company/press/messages/articles/249001>

Pilz - The Spirit of Safety

ピルツは、オートメーション技術分野の製品、システム、サービスを提供するグローバルサプライヤーです。安全オートメーションの先駆者として、人、機械、環境の安全を創造し続けています。同族企業ピルツの設立は1948年に遡り、現在ではオストフィルダンの本社を拠点として世界各国に42の現地法人・支店、2,500名の従業員を擁しています。

業界の技術リーダーであるピルツは、機械の安全と産業サイバーセキュリティを実現するためのトータルなオートメーションソリューションを提供しています。そのポートフォリオには、センサ、コントローラ、ドライブ技術に加え、産業用通信、診断、視覚化を目的としたシステムが含まれます。また、コンサルティング、エンジニアリング、トレーニングを含む各種サービスも国際的に提供しています。ピルツのソリューションは、機械エンジニアリングの業界にとどまらず、社内物流、包装、鉄道技術、ロボティクスなど、多くの業界で採用されています。

ピルツのソーシャルネットワーク

ピルツのソーシャルメディアチャネルでは、ピルツと社員の参考情報の他、オートメーション技術開発に関する最新情報をお知らせします。



<https://www.facebook.com/pilzINT>



<https://www.youtube.com/user/PilzINT>



<https://www.linkedin.com/company/pilz>



<https://pilz-magazine.com/en/>

記者向け連絡先

Martin Kurth

企業およびテクニカルプレス

+49 711 3409 - 0

publicrelations@pilz.com

Sabine Skaletz-Karrer

テクニカルプレス

+49 711 3409 - 7009

s.skaletz-karrer@pilz.de